

ミニトレーニングファーム整備で就農希望者をサポート

○新たないちご農家及びアスパラガス農家の確保のため、「入口対策（就農相談、各品目の就農セミナー）～「技術習得対策（トレーナーの下での研修）」～「出口対策（園芸団地の整備、中古ハウスの活用など）」までの一貫した仕組みづくりを進めている。

【位置図】



佐賀県
伊万里市、有田町

取組前

○これまで、国や県の事業等の活用により、新規園芸農家の確保・育成や規模拡大、省力化・高品質化を進めてきたが、管内の園芸産出額は、平成7年の61.1億円をピークに年々減少をたどり、令和4(2023)年では47億円ほどになっている。

○農家戸数の減少が進むなか、担い手の確保が急務となっている。

取組内容

○トレーナー制を軸とした研修体制を整備し、より実践的な研修が行えるよう、ミニトレーニングファームの設置を進めた。



取組後(成果)

○就農フェアへの出展や就農セミナー等のPR活動を通じて、情報発信。R8年度は1名（いちご）の研修生を受理。新規就農者の増加につなげていく。



【誘致体制】

JA、伊万里市、有田町、農業委員会、佐賀県等など関係機関で協議会を組織し、新規就農者の確保に向けた体制を整備している。

新規就農者サポート体制のイメージ



新規就農者や研修生の声

現場での実践的な指導を受けながら、栽培技術だけでなく経営面についても学び、将来的には地域に根差したいいちご農家として自立することを目標としています。

新規就農者誘致環境整備事業 活用年度：令和7年度

【問合せ先】

伊万里・有田地区新規就農者育成協議会
事務局JA 伊万里営農畜産部園芸特産課

TEL：0955-23-5560